

測量を通じて「まちをつくる」 宅地や商業施設、港湾など 公共施設整備を縁の下から支える

ヤードエンジニアリング



日々、明日の「街づくり」に
励むスタッフのみなさん

ヤードエンジニアリング（町田市本町田、宿利原芳文社長、042・794・7920、<http://www.2gol.com/users/yard-eng/>）は、1990年の設立から約30年の業歴を持ち、土地区画整理や各種開発事業の基礎となる測量や設計を行っている。同社は技術・誠実・信頼・迅速・正確・努力・的確・感謝の8項目をモットーとして、時代の流れを敏感にキャッチしたベストエンジニアリングをめざして地域社会に貢献することを目標に、事実、入札においては町田市からの指名が多く、地元の発展に大きく寄与している。

主力事業は公共測量設計および土地開発測量設計・土地区画整理事業などで、地権者と話し合いの場をもって計画への同意を取り付けるのを手始めに、測量と設計を行い、登記するところまでを手がける。

駅前のロータリー整備事業や民間企業による商業施設の開発事業

などでも、不可欠となる測量や設計。同社は「まちをつくる」仕事を縁の下で支えている。主な施工実績として、南町田駅北口広場詳細設計業務、木曽境川土地区画整理事業（設立から解散まで）、忠生第七小学校校庭整備設計業務委託等が挙げられ、さまざまな角度から町田市の街づくりの根底を担ってきた。

そして、この業界もIT化が進んで機器の性能・精度が飛躍的に向上している。最近では、ドローンによる空中画像を駆使したり、米国防総省が開発した衛星測位システムである「GNSS」が組み込まれた機器により操作性が格段に向上し、非常に高精度の測量が可能になっている。それらを操るエンジニアも日々知識や技術を磨くべく、測量士や土地区画整理士・技術士といった資格取得を積極的に行い、地域社会のニーズに合わせたハイレベルな品質管理に努めることで、多くのお客様からの信頼を勝ち得ている。



IT化が進み、測量現場でも
ドローンなど高性能機器が活躍